

材料特性に込める 「安心・安全・安らぎ」

オンライン技術
メイトイン
ジャパン
試作可
小ロット



危険や不安を緩和する用途で活躍

業務内容 危険や不安の緩和に貢献

ウレタン、スポンジ、クッション材の総合メーカー。材料の開拓・開発から完成品提案まで、半世紀以上にわたり培ってきた技術・ノウハウを備える。その用途は業務用家具や産業用の緩衝材をはじめ幅広い。中でも注力しているのが、野球場のフェンスや体育館などの防護マットの製造・取り付け工事やスポーツ用具、医療福祉関連のマットレス、体位保持具など経営理念に基づく「安心・安全・安らぎ」に関わる分野だ。

材料の持つ特性を生かし、危険や不安を緩和する「ひとに優しいものづくり」に挑戦している。

強み 自社独占材料が生きる商品開発

顧客の「あったらいいな」を形にするため、素材の独自開発・発掘に力を入れる。中でも同社が取り扱う伸縮性のあるスポンジ用特殊塗料（DIP塗料）では、この塗料に最適な塩ビ系特殊スポンジをつくる海外メーカーから日本での独占輸入権を取得、国内において同社のみが実現可能な製品を製造する。今では美容院で一般的に使われているシャンプー用の「首枕」もその材料を活用し、他社に先駆け開発したものだ。

また「ソフト跳び箱」のようなアイデア商品も多数取りそろえている。首枕は美容院のタオルの洗濯枚数を半減させ、ソフト跳び箱は、硬い跳び箱が怖くて飛べない子どもたちの不安をなくした。縫製技術や小ロット対応も強みで、多様なニーズを形にする体制を完備している。

人材育成 評価の透明性を確保し、スキルアップに導く

重点を置いているのが人材育成だ。取得

すべき資格や、部門ごとの職務の到達度合いなどをポイントで数値化し社員に公開。これらの数値を昇進・昇格や賞与査定・判断基準に反映させスキル、キャリアアップに挑んだ社員の頑張りに応える仕組みにもなっている。

また、賞与の査定では挨拶や身だしなみなど、社員たちで決めたヒューマンスキルの評価も取り入れ、判断に生かしている。渡邊「正社長は「業績の透明性とともに、判断基準をガラス張り」にすることにより、社員の理解も得やすい」と、その効用を挙げている。

今後の展望 重点戦略4分野の市場開拓を推進

成長が期待できる「医療介護・福祉」や「スポーツ」「施設の安全工事」「保育教具」の4分野を今後の重点戦略分野と位置付け注力していく。このうち保育教具では、幼児が好むキャラクターや画像を印刷できるUVインクジェットプリンターを平成28年に導入。幼児が口に入れても安全なUVインクを使い、信頼性を高めている。

また、人口減少社会を迎えて、渡邊社長は重点4分野への取り組みとともに「将来、グローバル展開も必要になる」と話す。自社ブランド立ち上げを見据え「まずは完成品メーカーを目指していきたい」としている。



軽量強靱ウレタンフォーム



全国的美容院で喜ばれた首枕

当社の歴史



昭和36年の創業で、当初はゴムスポンジやウレタンフォームの加工を中心にベビー用品や応接家具のクッション材などを主に手がけていました。時代の変遷とともに、スポーツや医療など取引分野も広がっています。素材の加工だけでなく完成品の開発・依頼も増えています。

代表取締役社長 渡邊 一正さん

<http://www.shinei-ind.com/>

主な事業内容

各種スポンジ・化学樹脂発砲製品の製造、加工、販売

主な取引先(納入先)

医療、介護福祉、スポーツ、保育、家具、産業資材、包装資材メーカー、商社

●住所

〒570-0006 東大阪市 楠根1-7-31

●TEL 06-6745-3501
●FAX 06-6745-3818
●創業 昭和36年8月
●設立 昭和36年8月
●資本金 1,000万円
●従業員 51名